

腎臓病学

責任者・コーディネーター		泌尿器科学講座 小原 航 教授		
担当講座・学科（分野）		泌尿器科学講座、消化器内科肝臓分野、糖尿病・代謝・内分泌内科分野、心・腎・内分泌内科分野、外科学講座、産婦人科学講座、放射線医学講座、小児科学講座、呼・アレ・膠原病内科分野		
担当教員		小原 航 教授、阿部 貴弥 教授、滝川 康裕 教授、石垣 泰 教授、田中文隆 准教授、水野 大 准教授、小山 理恵 准教授、加藤 健一 特任准教授、杉村 淳 特任准教授、石川 健 講師、村田 興則 助教、川村 実 非常勤講師		
対象学年	3	区分・時間数	講義	21コマ 31.5時間
期間	後期		実習	0コマ 0.0時間

・学習方針（講義概要等）

腎臓病学は腎臓におこる病的状態を的確に診断し、これを治療するために必要な知識や技術を探求あるいは開発する学問である。腎臓病には腎臓を中心として発病する（原発性）疾患と他臓器の疾患や全身疾患などに関わって発病する（続発性）疾患とがあるが、これら腎臓に病的状態を引き起こす全ての病態が腎臓病学の研究の対象になっている。講義を通してこれらの知識を深める。

・教育成果（アウトカム）

基礎的な腎臓病の病態、診断、治療に関する知識と問題解決力を身につけることにより、腎臓病患者を一般医として正しく診断、治療方針について説明できる。

（ディプロマ・ポリシー： 1、2、3、4、5、6、7、8 ）

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	尿細管の解剖生理、水・電解質代謝について説明できる。
2	糸球体腎炎を組織的に分類し、それぞれの病態を説明できる。
3	ネフローゼ症候群の診断と治療について説明できる。
4	腎疾患における画像診断について説明できる。
5	アミロイド腎症ならびに肝腎症候群について説明できる。
6	糖尿病性腎症、尿酸性腎症の病態を説明できる。
7	膠原病に伴う腎障害の病態を説明できる。
8	循環器疾患と腎臓病（心腎連関）について説明できる。
9	妊娠による腎への影響を説明できる。
10	小児における腎疾患について病態・治療を説明できる。
11	ウイルムス腫瘍、神経芽細胞腫の病態・治療を説明できる。

12	成人の腎腫瘍を列举し、それぞれの病態・治療について説明できる。
13	血液浄化、人工腎臓の成果、問題点、今後の展望について説明できる。
14	急性腎不全・慢性腎不全の病態および治療法について説明できる。
15	腎移植について説明できる。

・講義場所

講義： 矢巾キャンパス西1-C講義室

・講義日程

区分	月日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容	到達目標 番号	コアカリ
講義	6/13(水)	3	腎・高血圧内科分野	田中 文隆 准教授	血圧異常(内)	4、8	D-5-1)⑬、 D-8-1)②、 D-5-4)-(9)②、 D-5-4)-(9)⑤、 D-8-1)⑦、 D-8-4)-(3)①、 D-8-4)-(3)②、 D-5-1)⑫
講義	10/2(火)	1	腎・高血圧内科分野	田中 文隆 准教授	総講 理学的検査 腎機能検査 尿検査異常(蛋白尿・血尿)	1、2、3	D-8-1)②、 D-8-1)③、 D-8-1)③、 D-8-1)④、 D-8-1)⑦、 D-8-2)②
講義	10/2(火)	2	腎・高血圧内科分野	田中 文隆 准教授	病理学・糸球体腎炎Ⅰ ・原発性糸球体腎炎	2、3	D-8-2)③、 D-8-4)-(2)①、 D-8-4)-(2)②、 D-8-4)-(2)④、 D-8-4)-(2)⑤
講義	10/9(火)	1	腎・高血圧内科分野	田中 文隆 准教授	糸球体腎炎Ⅱ ・二次性糸球体腎炎	2、3	D-8-2)③、 D-8-4)-(2)①、 D-8-4)-(2)②、 D-8-4)-(2)④、 D-8-4)-(2)⑤、 D-8-4)-(3)①
講義	10/9(火)	2	腎・高血圧内科分野	田中 文隆 准教授	間質・尿細管病変 ネフローゼ症候群	2、3	D-8-2)③
講義	10/16(火)	1	腎・高血圧内科分野	川村 実 非常勤講師	水・電解質代謝 ・腎性尿崩症 ・腎性糖尿 ・尿細管性アシドーシス	1	D-8-4)-(5)②
講義	10/16(火)	2	腎・高血圧内科分野	川村 実 非常勤講師	尿細管 ・Fanconi症候群 ・Gitelman症候群 ・Batter症候群 ・Liddle症候群	1	D-8-4)-(4)②

講義	10/23(火)	1	泌尿器科学講座	阿部 貴弥 教授	急性腎障害 ・急性腎障害 ・急性腎不全 (ARF) の原因 とその対応 ・各論 TMAなど血液疾患に伴うARF 救急領域におけるARF 薬剤性腎障害	14	D-8-4)-(1)①、 D-8-4)-(1)⑥、 A-1-2)②
講義	10/23(火)	2	泌尿器科学講座	阿部 貴弥 教授	慢性腎臓病 (CKD) ・慢性腎不全 (CRF) ・保存期CRFの対応 ・包括的腎代替療法	14	D-8-4)-(1)②、 D-8-4)-(1)③、 D-8-4)-(1)⑤、 D-8-4)-(1)⑥
講義	10/30(火)	1	放射線医学講座	加藤 健一 特任准教授	腎の画像診断 ・後腹膜の画像解剖 ・腎画像診断 ・nutcracker現象 ・造影剤腎症	4	D-8-2)①、 D-8-2)①、 D-8-4)-(7)②
講義	10/30(火)	2	消化器内科肝臓分野	滝川 康裕 教授	全身疾患と腎障害Ⅰ (肝疾患と腎臓) ・肝腎症候群 ・ウイルス肝炎による腎障害	5	D-8-4)-(1)①、 D-8-4)-(6)③
講義	11/6(火)	1	糖尿病・代謝・内分泌内科分野	石垣 泰 教授	全身疾患と腎障害Ⅱ (糖尿病・代謝疾患と腎臓) ・糖尿病性腎症 ・痛風腎 ・アミロイド腎症	6	D-8-4)-(6)①、 D-8-4)-(1)⑤
講義	11/6(火)	2	呼・アレ・膠原病内科分野	村田 興則 助教	全身疾患と腎障害Ⅲ (アレルギー性疾患と腎臓) ・ループス腎炎 ・血管炎症候群 ・関節リウマチ	7	D-8-4)-(6)②、 D-8-4)-(6)④、 D-8-4)-(6)⑤、 E-4-3)-(3)②、 E-4-3)-(4)①
講義	11/13(火)	1	腎・高血圧内科分野	田中 文隆 准教授	全身疾患と腎障害Ⅳ (循環器疾患と腎臓・心腎連関) ・腎血管性高血圧 ・腎硬化症	8	D-5-4)-(9)②、 D-5-1)⑫、 D-5-4)-(9)⑤、 D-8-4)-(3)①、 D-8-4)-(3)②
講義	11/13(火)	2	小児科学講座	石川 健 講師	小児の腎疾患 ・溶血性尿毒症症候群 ・Alport症候群 ・家族性良性血尿 ・Fabry病	10	D-8-4)-(7)①
講義	11/20(火)	1	外科学講座	水野 大 准教授	小児の腎腫瘍 ・ウイルムス腫瘍 ・神経芽細胞腫	11	D-12-4)-(1)⑬
講義	11/20(火)	2	泌尿器科学講座	小原 航 教授	成人の腎腫瘍など ・腎細胞がん ・多発性嚢胞腎	12	D-8-4)-(7)①、 D-8-4)-(7)②、 D-8-4)-(9)①、 E-3-5)⑧

講義	11/27(火)	1	産婦人科学講座	小山 理恵 准教授	妊娠と腎臓	9	D-5-4)-(9)⑤
講義	11/27(火)	2	泌尿器科学講座	阿部 貴弥 教授	透析療法の成果と問題点 ・CKD-MBD ・腎性貧血 ・透析アミロイド症	13	D-8-4)-(1)⑤、 D-8-4)-(1)④、 D-8-4)-(1)⑥
講義	12/4(火)	1	泌尿器科学講座	阿部 貴弥 教授	血液浄化療法 ・血液浄化療法の種類と 適応疾患 ・血液浄化療法の危険性	13	D-8-4)-(1)①、 D-8-4)-(1)⑤、 D-8-4)-(1)⑥
講義	12/4(火)	2	泌尿器科学講座	杉村 淳 特任准教授	腎移植	15	D-8-4)-(1)⑥

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
推薦図書	専門医のための腎臓病学 第2版	下条文武 監修	医学書院	2009
参考書	腎臓学：病態生理からのアプローチ	黒川清 編	南江堂	1995
推薦図書	Oxford Textbook of Clinical Nephrology 4th ed. 3vols	Turner, Neilほか	Oxford University Press	2016
教科書	標準泌尿器科学 9版	赤座英之 監修、並木幹夫 編	医学書院	2014
推薦図書	Williams Obstetrics 24th ed.	F. Gary Cunninghamほか	McGraw-Hill	2014
参考書	改訂第2版 腎生検診断Navi	片渕律子 編著	メジカルビュー社	2016

・成績評価方法

<p>【総括評価】筆記試験の成績により100点満点の60点以上を合格とする。 【形成的評価】講義中の口頭試問や小テストなどで評価し、学生にフィードバックを行う。</p>

・特記事項・その他

腎疾患総論	1回
糸球体腎炎・ネフローゼ	3回
尿細管・腎血管性高血圧	1回
水・電解質代謝	1回
腎血管性疾患の画像診断	1回
全身疾患と腎障害	4回
妊娠と腎・妊娠時高血圧症	1回
小児の腎尿路疾患	2回
成人の腎腫瘍	1回
ウイルス腫瘍・神経芽細胞腫	1回
血液浄化/人工腎臓の成果と問題点	1回
急性・慢性腎不全・腎移植	1回

シラバスに記載されている内容及び各回に配布・提示される教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

・教育資源

教科書・参考書・講義室・PC

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			